

事業評価票（監査結果に基づき見直しを図る事業）

1	単価契約における見込数量算定方法の見直し (財務局財産運用部)	監査実施年度	平成 27 年度
		監査種別	定例監査
指摘・意見等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・部は、財産価格評価業務における情報収集を目的として、都内の不動産取引実例（売買・賃貸物件情報、戸別成約情報）をインターネットで検索できるサービスを利用するため、提供業者と不動産情報提供契約を締結している。 ・しかし、不動産取引実例のインターネット検索サービスの利用について、過去の実績を踏まえると、月当たりの検索数を最大300回と算定し契約していることは適切でない。 ・単価契約の見込数量を適切に算定すべきである。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に見込数量を算定するためのルールを改めて定めた。 ・引き続き、財産価格評価業務を適切に行っていくため、平成28年度の見積額においては、所要の額を計上する。 	28年度見積額	820 千円
		27年度予算額	820 千円
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の適切な執行に向けたルールを定めており、監査結果を踏まえた適切な対応を図っていることから、局要求のとおり計上する。 	○ 妥当 ○	
		見直し	
		その他	
		28年度予算額	820 千円

○ 監査事務局 ○ ・ 行革推進部	<ul style="list-style-type: none"> ・見込数量を適切に算定するためのルールを定めたことは監査指摘と整合しているが、今後、平成28年度の契約について確認する必要がある。 	整合	
		不整合	
		○ その他 ○	

2	印刷物請負契約の見直し (都市整備局市街地建築部)	監査実施年度	平成 27 年度
		監査種別	定例監査
指摘・意見等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅及びビル・マンションの建物所有者が、耐震改修に当たり最適な工法を選択できるようにするための方策として、公募で収集した耐震工法から選定した事例集を印刷しているが、平成26年度は、3回に分けて行っていた。 ・印刷物は作成部数や作成期間等により契約単価に影響するため、経費節減の観点から計画的に締結する必要がある。事例集の印刷請負契約を計画的に行われたい。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘を踏まえ、年2回行う耐震キャンペーンの時期に合わせて、印刷部数を精査して計画的に発注する方法に見直す。 ・また、28年度要求では、これまでの配布状況を検証するとともに改訂予定を考慮して、印刷部数を見直した。(27年度：90円×5,000部×2回×2種類 ⇒ 28年度：90円×3,500部×2回×2種類) 	28年度見積額	1,361 千円
		27年度予算額	1,944 千円
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘を受け、契約のスケジュールや印刷部数の見直しを行うなど、経費の精査が図られていることから、見積額のとおり計上する。 	○ 妥当 ○	
		見直し	
		その他	
		28年度予算額	1,361 千円

○ 監査事務局 ○ ・ 行革推進部	<ul style="list-style-type: none"> ・局の見積概要は、監査指摘の趣旨に沿ったものであり、適切な改善措置が講じられることが期待されるが、今後、実際の契約状況を確認する必要がある。 	整合	
		不整合	
		○ その他 ○	